

ほっと すぺ〜す

No.129
2021・7



全国手をつなぐ事業所協議会ニュース

今号では

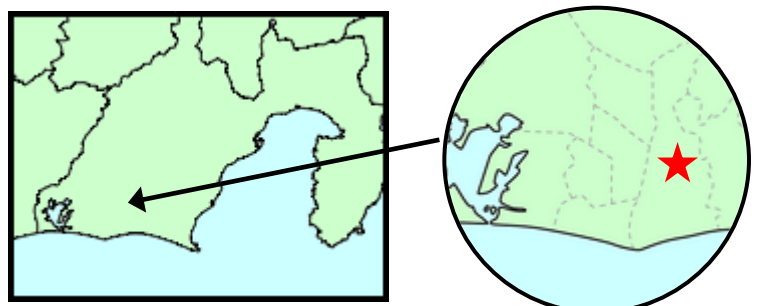
◆2020年度（令和2年度）全国手をつなぐ育成会連合会
事業所協議会 事業報告と決算について



【サンサンいわた東原の皆さん】

全国の事業所から

(特非) サンサンいわた
サンサンいわた東原
《静岡県 磐田市》





ほっとすぺ〜す

今号の目次

No.129 2021年7月発行

3  令和3年5月より災害時における避難情報の名称が変更されています

4  2020年度（令和2年度）
全国手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会
事業報告と決算について

8  **On The Frontline ～ 前線に立つ～**
いのちを守り、いのちを育む 共に生き、共に育つ
社会福祉法人島原市手をつなぐ育成会（長崎県 島原市）
統括管理者 菅 敏洋 さん

12  **全国の事業所から**
サンサンいわた東原（静岡県 磐田市）

16  編集後記

おいせ

全国手をつなぐ育成会連合会では「災害等活動支援基金」を募っています

今回、静岡県熱海市で発生した大規模土石流では、事業所協議会会員では無いものの、育成会会員の方の被災が確認されています。

被害世帯は2世帯で、両世帯とも家屋流失し、1名が行方不明となっています。現在は2世帯とも避難所で生活されており、長期の避難が必要な状況です。

全国手をつなぐ育成会連合会では、大規模災害や疫病に備えて「災害等活動支援基金」を設置しています。今回は激甚災害指定にはなっていない状況であるため「義援金」としては募集をしていませんが、全育連では災害等活動支援基金からお見舞い金をお渡しすることとしており、次の口座で受け付けています。皆さまにおかれましては、可能な範囲でご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

【災害等活動支援基金】

銀行名 滋賀銀行（銀行コード：0157） 支店名 県庁支店（支店番号：160）

預金種別 普通口座 口座番号 0519909

口座名義 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 災害等活動支援基金
会長 久保厚子

※ 振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

@ **全国事業所協議会より**

令和3年5月より災害時における避難情報の名称が変更されています

6月から7月にかけて、全国各地で豪雨被害が発生しました。
 最近の局地的豪雨や台風の巨大化も、地球規模の温暖化による影響とも言われており、海水温上昇にも一因があるようです。
 7月以降も、台風の到来、高温による局地的豪雨・突風も予想されます。
 今年の5月には、災害時における避難情報の名称に変更がありました。
 大きな変更点としては、避難情報のうち「避難勧告」が無くなり「避難指示」に統一され、「避難準備・高齢者等避難開始」が「高齢者等避難」に改められました。
 各事業所で避難マニュアルを作成している場合で、市町村が発令する避難情報を引用している場合は、気をつけてください。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	相当する警戒レベル
5	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況に陥る場所よりの安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報 氾濫発生情報 <small>※必ず発令される情報ではない</small>	5相当
<警戒レベル4までに必ず避難!>				
4	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報 高潮特別警報 極めて危険 非常に危険	4相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、首段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 高潮警報 警戒(警報級) 氾濫警戒情報	3相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。		大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 注意(注意報級) 氾濫注意情報	2相当
1	災害への心構えを高める ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認		早期注意情報(警報級の可能性)	

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。
 ※2 「極めて危険」「非常に危険」が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「警戒(警報級)」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の対応に活用することが考えられます。

また、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の流行により、各地域にある避難所では、新型コロナウイルス対策も含んだ防災計画に変更されている場合もあります。

特に一時避難所では、避難場所（体育館や広間など）での収容人数に制限を設けている場合もありますので、機会があれば現時点での避難所の運営形態について、各市町村役場の防災担当課等にお問い合わせをして確認してください。

【内閣府・防災情報のページ】
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

(近畿ブロック 飯塚 聡)



全国事業所協議会より

2020年度（令和2年度）全国手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会 事業報告と決算について

令和2年度（2020年度）終了したことから、6月25日には全国手をつなぐ事業所協議会の理事会（旧運営委員会）を開催し、事業報告と決算を審議し、次のようになりました。

2020年度（令和2年度） 全国手をつなぐ育成会連合会事業所協議会 事業報告

1. 事業所協議会の組織強化と拡大

1) 事業所協議会運営委員会を定期的で開催した。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、オンライン会議により計11回の運営委員会を開催した。

2) 運営委員の役割分担を明確にして組織の機能の強化を図る。

→統括（担当：松崎 伸一）

統括補助（担当：田中 寛）

研修（担当：遠藤 洋輔、松崎 伸一、飯塚 聡）

○全国研修大会の開催内容の企画・運営、研究課題の調査・研究

広報（担当：飯塚 聡、門内 勇治、石川 明博）

○事業所協議会ニュース「ほっとすぺ〜す」通常号11回発行（1月2月は合併号）

○新型コロナウイルス感染症に伴う「ほっとすぺ〜す」臨時号の発行（計9号）

政策提言（担当：田中 寛、石川 明博、松崎 伸一、岩月 成臣）

○会員のニーズ調査・制度提言の研究、調査内容の立案

事務局（担当：石川 明博）

○事業所協議会の活動に関する経費精算、予算作成

○会員事業所への広報誌配布

○運営委員会の開催準備、案内の送付

○全国研修の後援、広告社との連絡調整

3) (一社)全国手をつなぐ育成会連合会の正会員加入へ向けた準備と並行して各都道府県、ブロック状況の把握作業を行った。

2. 会員相互の支援・交流

1) 事業所協議会ニュース「ほっとすぺ〜す」を11回発行。

また新型コロナウイルス感染症号外号として9回発行し情報提供を行った。

2) 事業所協議会全国研修大会を大阪市にて開催。

→令和2年度全国研修大会を大阪市にて実施。オンライン形式による。
（担当：社会福祉法人大阪市手をつなぐ育成会、及び同事業所協議会）

開催内容について下記の通り。

- ①開催日：令和3年2月27日～令和3年3月31日（配信期間）
- ②大会テーマ：新型コロナウイルス感染症から事業と利用者を守る
- ③開催方法：申込メールアドレスへの資料、動画案内の配布、視聴
- ④参加申込数：197名 動画視聴回数：2,385回（累計）

- 3) 地域セミナーは新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。
- 4) ブロック研修を下記の通り実施。他のブロックについては新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

・北海道ブロック：

研修テーマ「これからの事業所運営、令和3年度報酬改定について」

・近畿ブロック：

研修テーマ「新型コロナから事業と利用者を守る」（全国研修大会併催）

3. 共に暮らす地域づくりの推進

令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う事業継続支援として、（一社）全国手をつなぐ育成会連合会と連携し、行政通知にて公示された事業所向けの補助金等の研修会の案内や、新型コロナウイルス感染に対する対応方法、対応例、対策方法や対策例について広報誌を通じて協議会加盟事業所へ配信を行った。また、新型コロナウイルス感染症による事業所への影響についてアンケートを実施した。

4. 政策・制度提言等

事業所協議会として政策提言担当者により、新型コロナウイルス感染症に関する補助金及び令和3年度報酬改定についての意見の取りまとめを行った。

また新型コロナウイルス感染症に伴う事業所への影響アンケートを実施。令和3年度報酬改定等についてのアンケートについての内容を議論した。

5. その他

事業所協議会の組織のあり方、連合会との関係や会費等について検討した。
→令和3年度より（一社）全国手をつなぐ育成会連合会との関係を明確に位置づけるために規約の改正を行い、組織と名称変更を準備した。（令和3年4月1日より「全国手をつなぐ事業所協議会」と組織を変更した。）

6. 運営委員会実施状況

第1回運営委員会（令和2年6月10日） 開催方法：書面決議

- ・令和元年度事業報告及び決算報告及び任期満了に伴う新運営委員の選任（案）についてほか。

第2回運営委員会（令和2年6月15日） 開催方法：オンライン開催

- ・運営体制の確認、会議の持ち方、全国研修大会大阪市大会、コロナ対策についてほか

第3回運営委員会（令和2年7月13日） 開催方法：オンライン開催

- ・事業所協議会規約改定について、全国研修大会についてほか

- 第4回運営委員会（令和2年8月19日） 開催方法：オンライン開催
 - ・規約改定について、全国研修大会開催要項案についてほか
- 第5回運営委員会（令和2年9月15日） 開催方法：オンライン開催
 - ・規約改定について、全国研修大会開催要項案についてほか
- 第6回運営委員会（令和2年10月14日） 開催方法：オンライン開催
 - ・規約改定について、全国研修大会開催要項案についてほか
- 第7回運営委員会（令和2年11月16日） 開催方法：オンライン開催
 - ・規約改定について、会員へのアンケート調査並びに政策提言についてほか
- 第8回運営委員会（令和2年12月22日） 開催方法：オンライン開催
 - ・規約改定について、事業所協議会からの要望（案）、全国研修大会についてほか
- 第9回運営委員会（令和3年1月18日） 開催方法：オンライン研修
 - ・規約改定について、事業所協議会からの要望（案）、全国研修大会についてほか
- 第10回運営委員会（令和3年2月22日） 開催方法：オンライン研修
 - ・規約改定について、全国研修大会についてほか
- 第11回運営委員会（令和3年3月22日） 開催方法：オンライン研修
 - ・規約改定について、全国研修大会について、令和3年度全国事業所協議会事業計画
 - ・予算書について、要望（案）及びアンケート調査について、全国研修大会報告ほか

7. 事業所協議会ニュース発行について

発行回数：月1回、年11回発行 115号～125号

<主な掲載内容>

- ・令和2年度 全国事業所協議会事業計画・予算書
- ・令和元年度 全国事業所協議会事業報告・決算書類
- ・令和2年度 事業所協議会全国研修大会・大阪市大会 案内・報告
- ・各ブロック研修会 報告 ・運営委員会報告
- ・全国の会員事業所紹介 11事業所
- ・新型コロナウイルス感染症情報
- ・令和3年度報酬改定情報と意見
- ・育成会連合会で新たな保険プラン紹介
- ・北海道ブロック森本前運営委員を惜しんで

《号外》新型コロナウイルスに関する特別号 9号発行

- ・新型コロナウイルス対策に関する厚労省の通達、文書の解説
- ・全国の施設での新型コロナウイルス感染状況、感染事例の報告
- ・新型コロナウイルス感染症に関する緊急調査（3月30日実施分）の中間報告について
- ・全国手をつなぐ育成会連合会 又村 あおい 氏によるオンライン研修会
- ・給付費取得ガイドラインの追記事項

（全国手をつなぐ事業所協議会事務局長 石川 明博）

2020年度（令和2年度） 全国手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会 決算

2020年度（令和2年度）の決算の概要としては、加入事業所は600事業所でした。

支出については、事業所協議会運営委員会をオンライン会議に切り替えたことにより、「旅費交通費支出」を削減することができ、一方でオンライン会議を導入した費用として「事務消耗品費支出」が増額しました。また、「業務委託費支出」については、アンケート調査をした際に集計作業を委託したことから増加しています。

最終的に約50万3千円の収支差額を計上できましたので、令和3年度（2021年度）に繰り越します。

（全国手をつなぐ事業所協議会事務局長 石川 明博）

令和2年度 全国手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会 収支計算書

（自）令和2年(2020年)4月1日 （至）令和3年(2021年)3月31日

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異(A) - (B)	備考
収入	事業収入	3,388,000	3,283,016	104,984	
	事業所協議会会費収入	3,100,000	3,000,000	100,000	
	広告費収入	288,000	283,000	5,000	
	受取利息収入	0	16	△ 16	
	収入計 (1)	3,388,000	3,283,016	104,984	
支出	事務費支出	3,339,000	1,529,752	1,809,248	
	旅費交通費支出	1,500,000	0	1,500,000	
	研修研究費支出	1,410,000	900,000	510,000	
	事務消耗品費支出	94,000	208,916	△ 114,916	
	印刷製本費支出	20,000	20,000	0	
	通信運搬費支出	65,000	92,586	△ 27,586	
	会議費支出	20,000	0	20,000	
	業務委託費支出	200,000	300,000	△ 100,000	
	手数料支出	30,000	8,250	21,750	
	雑支出	0	0	5,000	
	積立資産支出	0	1,250,000	△ 1,250,000	
	運転資金積立資産支出	0	1,250,000	△ 1,250,000	
	支出計 (2)	3,339,000	2,759,752	559,248	
収支差額 (3)=(1)-(2)		49,000	503,264	△ 454,264	
予備費支出 (4)		49,000	0	49,000	
当期繰越額 (5)=(3)-(4)		0	503,264	△ 503,264	
前年度繰越額 (6)		-	1,340,833	△ 1,340,833	
次年度繰越額 (7)=(5)+(6)		-	1,844,097	△ 1,844,097	

On the frontline

～前線に立つ～

第2回目となる今回の「On the frontline ー前線に立つー」は長崎県島原市で統括管理者をしておられる菅 敏洋さんです。この世界に入って36年の豊富な経験をお持ちですが、無認可時代の頃の熱い思いを島原より語っていただきました。

さて、毎年この時期になるとテレビで線状降水帯という言葉が流れ出し、日本の何処かで豪雨災害が発生するようになってしまいました。長崎も過去に大きな豪雨被害を出しています。対談は災害の話から始まりました。

第2回

いのちを守り、いのちを育む 共に生き、共に育つ



社会福祉法人 島原市手をつなぐ育成会
統括管理者 菅 敏洋さん

【松崎】 ご無沙汰しています。近年全国いたるところで豪雨による被害が出ていますが、そちらの被害はいかがでしょう。

【菅】 お久しぶりです。幕張での研修大会以来4年ぶりでしょうか。

大雨による災害は大丈夫です。災害といえば私の住む島原では、過去に雲仙普賢岳の噴火による災害がありました。利用者・職員の中にも、当初は体育館に避難生活をし、その後、仮設住宅、島原半島の各旅館での生活を送られた方もいます。それが約30年前（1991年）となります。現在の生活介護事業所「松光学園」の開所を1992年4月に予定していた頃で、噴火災害の為12月の開所になってしまいました。古い話になりましたが島原の天災といえば、島原半島の真ん中にある雲仙普賢岳の噴火です。

【松崎】 30年前ですか、ちょうどその年、私は東京の三鷹市の親の会の誘いを受けて作業所を1つ始めた年ですね。公務員から転身したものですから、家族からも反対されての転職で、私にとってはエポックメイキングな年でした。菅さんは既に作業所で働いていたわけですね。

【菅】 人と接することが好きなので、高校卒業後の進路はビジネスの学校へ行こうと思っていたんですが、友人が淑徳学園（千葉）に行くことになり、興味があり、また都会にも憧れがあり、何気なくそちらの方へ。これがきっかけとなりました。千葉県の特設学校へ進み、柏市に住んでいました。

【松崎】 そのへんの経緯や思いを少し詳しくお聞きしたいのですが。身近に障害のある方がいらっしゃったんですか。

【菅】 叔母が身体障害者で、車いすとかではなく内部障害でした。しかしこの世界には専門学校に行くまで、あまり関わる事がなかったです。専門学校で単位をとらなければならず、地元で就職する人は地元でコネを作るという意味でも島原で実習をする必要がありました。近隣に叔父が勤務する入所施設があり、2週間実習しました。その実習の反省会での指導課長の言葉「知的障害を抱えている方は自分の思いを伝えることが難しい。支援者はその代弁者だ」から、知的障害の方の実情を感じました。

その1年後に福祉事務所で実習。その時に「おもしろい爺さんがいるが実習に行ってみるか」と言われ、デスクワークより現場が好きな私は二つ返事。翌日、当時の無認可のひかり福祉作業所へ行くと、土間でランニングシャツに短パンで焼き物をしている爺さんから、「敷地の奥の崖の草を刈ってくれ」と言われ、真夏に一日中、崖の草刈りを。夕方そのまま爺さん宅に行き2人で呑み語り合い、そのまま宿泊し翌日作業所で実習。この時、障害のある方たちと一緒に生活をしていきたいとの思いになりました。

当時まだ20歳そこそこで、それから36年。これが私の師匠である原先生との出会いであり育成会との出会いです。特別支援学校の教諭をしていた方で、その当時は育成会の事務局長で、初代松光学園園長です。

【松崎】 原先生との運命的な出会いが今につながる原動力になっているんですね。

その36年を振り返ってみて、これこそが大事と実感していることがありますか？

【菅】 一般的にも言われていることですが、寄り添うこと、その人の視点に立つことが大切だと思っています。

親の会で親御さんともたくさん話しましたし、兄のように慕っている方もいます。



子どもさんの今後のことを考えると生活のリズムが取れず、本人の将来に問題が生じることを伝えると口論になることもあり、子育てと支援では食い違いもありました。

そのお父さんが、ある時「菅君、自分はこの子が特別支援学校から帰ってくることを迎える事だけで精一杯なんだ」と寂しそうに言われました。その時のお父さんの口調・表情を見て当事者にならないとわからないこと、家族はいっぱいいっぱいで生活されていることに気づかされました。自分もその後、親になり、その気持ちが少しはわかるようになり、支援者として考える正論のみでなく、本人・家族に寄り添っていきたいと思っています。

【松崎】 36年経った今の法人の事業は、今どんな状態ですか。

【菅】 今は就労継続B型20名、生活介護20名、医療的ケアが必要な方を対象とした一体型の生活介護・放課後等デイ・児童発達支援、グループホーム3棟、ヘルパー事業、相談支援事業です。（松光学園やネットワークセンターひかり他）そして公益事業として育成会活動を行っています。今後もグループホームのニーズはあり、特に重度の人が生活できるグループホームを検討しているところです。

一方、福祉サービス事業ではないこと、育成会活動等を充実していきたいですね。島原半島の関係者が自主的に集まった勉強会や障害児を対象としたキャンプなど、福祉サービス事業としてではない活動や本人活動なども行っています。



【人参の出荷作業（ひかり）】

【松崎】 新法以降、事業と運動は別とされ育成会活動が希薄になってしまった話がよく聞きますが、そのへんはいかがですか。サービス提供者と利用者の関係について。

【菅】 サービス事業と活動が両輪でなければいけないのですが、事業に力が入ってしまいやすいです。今は法人理事長をはじめ役員や管理者が設立から関わりある方であり、両輪が可能です。両輪であることは法人のポリシーですが、職員も親も設立当時を知らない人が多くなった今、これを次の世代に伝えていくことが大切だと思います。

事業（事業体）と活動（運動体）は両輪。しかし、運転手は活動（運動体）。

【松崎】 人材確保はいかがですか。東京では職員確保が最大の課題ですが。

【菅】 人材は不足しています。パート職員含めて60数名いますが、その中で親や兄弟が10名程活躍しています。武器は親の会です。無認可の時と違い今は給料の支払いも出来るので、親や兄弟が支援者として入職してもらうことも大切かと思っています。

【松崎】 小規模作業所時代は何でもする“よろず屋さん”でしたね。今は法律・制度が整って、かえって壁もできたのではと思います。かつての思いを若い職員にわかってもらうのは難しくなり、私も歯がゆさを感じるところです。

【菅】 かなり変わってきましたよ。特別支援学校では児童が帰る時間になると放デイ等の車が多く停まっている。島原のバスターミナルより多いくらいです。親が学校へ行くことがなくなってきて、親によってなされていたことがなくなってきている。以前は運動会では弁当の持ち寄りでも和気あいあいさも見られていましたが、保護者のつながりが少なくなった。

無認可時代から一緒に働いている本田統括と30年前はやりたいことは制度等を考えずに、宿泊訓練、行事が必要と思えば各種行事等、必要と思えば制度に捕らわれることなくやれることはやって来ました。社福になり、制度の縛りもでき、自分自身も管理者としてブレーキを掛けることも増えた。管理者としてはリスクを考え、そのブレーキも大切なことではあると思って

いますが、反面、職員や自分自身がやりたいと思うことをすぐに踏み出すことを躊躇することも増えてきました。

【松崎】 島原地域の障害福祉の状況、行政との関わりはどうでしょうか？

【菅】 育成会と島原市の関係性は取れていると思います。島原半島の3市は合計人口約13万人程度で、伝統ある障害者関係の社会福祉法人が多く、現在、障害の社福だけで10法人あり、激戦区です。それでも医療的なケアが必要な人や行動障害の人の行き場はなく、私たち親の会である育成会で進めていきたいが財源等が課題です。



【ひまわりキャンプ（育成会活動）】

島原半島3市は障害関係のある法人・団体が多くありますが、本人・保護者の会である育成会の特色を生かして各団体の潤滑油になりたいと思います。合同で行事を実施したり、自主的な勉強会など協力体制を取って。

【松崎】 拍手です、その通りだと思います。最後に伝えておきたい思いはありますか。

【菅】 当法人の職員、そして長崎県のサビ児管研修や強行研修に関わらせていただいているのですが、その受講者にも伝えていることは、「我々は行政の下請けではない」ということです。これは松崎さんが何処かの大会で発言されました。本当に私もそうだと思います、その言葉を機会ある度に言わせていただいています。現場の我々が制度を作っていく。その気概を持ち仕事をしていきたい。サービス、制度を利用者が利用しやすいように、我々が原動力になって勧めていくことを、伝えていきたいと思っています。

【松崎】 「行政の下請けにはなるな」、この言葉を15年前の大法以降、大会のたびに叫んできましたが、使っていただけて幸いです。真面目に取り組んだら、利用者のためのはずが市の職員を助けただけ、なんてことがよく起きますね。今日は心強いお話をお聞きすることができました。

《オンライン対談を終えて》

菅さんにはたくさんのお話をさせていただきましたが、紙面の制約上、割愛させていただきました。コロナ禍で今は飲みにいけないことが一番の残念とのこと。今度お会いしたときは一献交わすことをお約束しました。

島原市育成会50周年記念誌を読むと、菅さんと同僚の本田さんが若かりし頃に話したことが出てきます。「あいつら（育成会）が動き出すと、なんばするかわからんぞ」と思われるようになっていたい。

素敵なお話です。

(全国手をつなぐ事業所協議会 理事長 松崎 伸一)



しんいち まつざき (自分)

全国の事業所から

サンサンいわた東原

〔特定非営利活動法人サンサンいわた〕

（静岡県 磐田市）

静岡県西部。磐田市の中でも茶畑が多く緑鮮やかな地に「サンサンいわた東原」は、平成25年（2013年）4月に就労継続支援B型事業所として開所しました。

令和3年（2021年）5月には、生活介護事業も開始し、利用者さんが住み慣れた地域で生活していくために、一人一人の目標や生活のステージに合ったサービスを提供しています。

午前中は、全員生産活動をします。

主な作業は、下請け作業、農園での野菜の袋入れ、縫製品等の自主製品の製作、磐田市総合健康福祉会館 i プラザ内の喫茶業務です。利用者さんは、朝出勤するとすぐにホワイトボードで自分の作業を確認して準備をします。皆で力を合わせ、「早く綺麗に正確に」を意識して多くの作業に取り組んでいます。



【緊張感ただよ接客】



【事業所内での内職作業】

コロナ禍のこの一年、作業量の減少や販売会の中止、喫茶では感染拡大防止のための休業や来客数の減少により、大きな減収となりましたが、新たにサツマイモの栽培と販売、手作りマスクの販売に取り組みました。今年に入り、新たな下請け先の開拓や、喫茶では、キャッシュレス決済の導入やワンコインメニュー、デザートメニューの新規開拓等、コロナ禍を盾に新たな事にも挑戦しています。



【サツマイモの収穫】



【喫茶の一角の自主製品コーナー】

生活介護の利用者さんは、生活リズムを整え、自分の出来る事を維持するために、午後は、機能訓練や得意な活動に取り組んでいます。毎月一回、アート活動も取り組む予定です。

また、当事業所内には、相談支援事業所「ほほえみ」も事業展開しています。各関係機関と連携を取り、それぞれの方に寄り添った支援を心掛けています。



【タオルを使った機能訓練】



【アート活動は今後定期化を予定】



【完成した作品】

法人の理念「やさしくささえあう明るいみんなの」わ「」のもと、仲間同士・家族・地域・社会の子どもからお年寄りまで、みんなで支えあい、明るく楽しく笑顔の絶えない生活を送る事を目指し、就労支援や生活支援の場、安心して過ごせる場の提供をしています。

(特定非営利活動法人サンサンいわた
サンサンいわた東原 管理者 三輪 浜子)

コピー用紙 定期配送サービス

**ウチダシステムズの通販をご利用頂ければ、
事務用品・衛生用品などが
全国手をつなぐ育成会連合会
事業所協議会様向けの特別価格で
お安くご提供できます！**

もっと便利に！
もっとたくさん！

介護用品
定期配送サービス

ポイント①


760万以上の商品を
**「事業所協議会の皆
様だけの特別価格」**
でご提供します！

ポイント②

**最短翌日配送のス
ピードで欲しいものが
直ぐに届く！**
※一部、対象外の地域有

ポイント③

**請求書を科目や事
業毎に分けることが
出来るので経理業務
が楽に！**



ご相談は下記までお問合せ下さい。
株式会社ウチダシステムズ 福祉施設営業部
TEL : 03-3537-0888

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約**145,000人**のみなさまにご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
 職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
 新宿三井ビル2号館2F
 TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
 受付時間: 午前9時～午後5時
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
 TEL: 03-6894-9110
 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
 連絡先はTEL又はホームページにてご確認ください。
 TEL: 03-5577-6351 <http://www.zensapo.jp>
 加入窓口は全国の全国知的障害児者生活サポート協会傘下の
 各都道府県団体の事務局となります。

2020年12月現在の内容です。(D-004959 2022-03)

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…



他人の物を壊してしまった…



このようなお困り事に
心当たりがある方に…



虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康組合保険(財形組合)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

知的障がい・
発達障がい、ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

弁護士が
全面的に
サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利保護賠償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。



詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く

URL: <http://www.z-kyosai.com/>



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

【2020年1月作成 19-TC06633】

編集後記

2020年東京オリンピックを延期に追い込み、飲食業や観光業をはじめ各種産業に壊滅的打撃を与えた新型コロナウイルスですが、感染症のまん延による日本経済への影響は大きいものがあります。

しかし、今後長期にわたり懸念されるコロナ禍の災厄は、「少子化の急加速」ではないか…と、ある雑誌で次のような記事を目にしました。



～「無子化社会」到来～

人との接触が制限される社会で進む「恋愛の停止」。

婚姻や出産の前提ともいえる恋愛活動が滞れば、少子化は当然一段と加速する。

子どものいないどころか、もはや周囲に見当たらない。

そんな「無子化社会」の到来を前に、企業と個人がすべきことを考える。

少子高齢化に伴い労働人口が減る中で、福祉事業においても持続可能な事業計画（BCP）の策定が求められており、人材育成や労働力の確保について考えて行かなければならない。

（東北ブロック 石川 明博）

全国手をつなぐ事業所協議会ニュース
『ほっとすべ〜す』2021年7月号
（通巻129号）
2021年7月15日発行

【編集・発行】
全国手をつなぐ事業所協議会
岩手県盛岡市下飯岡15地割77-3
TEL 019 (613) 7200 定価 100円

手すき風再生紙製造機

かみやえいざぶろう **A3**

2021年4月よりレンタル開始!

詳細はお問い合わせください

紙屋栄三郎ならカンタン手すき紙!!



A3サイズ
420mm×297mm

紙屋栄三郎



掃除機で脱水!

紙屋栄三郎の3つのポイント

- 1 水と家庭用電源があれば、どこでも作業可能です。
- 2 利用者さんの障がいに応じて、作業を細分化できます。
- 3 A3サイズの紙が抄けるので商品化の幅が広がります。

通常価格：880,000円（税込）

福祉施設特別価格

704,000円（税込）

寸法：高さ：135cm 幅：90cm
奥行き：50cm 重量：50kg

まずは
お問合せ下さい!

全国各地の
作業所で
活躍中!

株式会社 第一クリエイティブ 担当/高木 〒422-8064 静岡県静岡市駿河区新川 2-3-15
TEL 054-285-5633 FAX 054-285-5730 URL <http://www.1cre.jp/> E-mail webmaster@1cre.co.jp

Youtube ▶

